地域密着型金融の取組状況（2025 年 4 月～2026 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

**湘南信用金庫**

| 項目 | 具体的な取組事例 | 2025 年度中の結果報告 |
|---|---|---|
| １．創業・新事業開拓支援 | 新事業の創出支援 | 【取組経緯】<br>当金庫は横須賀商工会議所と連携した「ヨコスカスカジャンプロジェクト」に参画しており、地域文化であるスカジャンの復権に向けた取組みを進めていました。その過程でデザイン・WEB 制作業を営む株式会社より新事業として「最新刺繍ミシン×オンラインオーダーシステムによる次世代スカジャン文化創造プロジェクト」の相談を受けました。<br>【取組内容】<br>同社の事業構想が地域文化振興と新産業創出に資する点を評価し、事業再構築補助金の申請支援を実施するとともに、事業構想の発信機会として「スタートアップオーディション in YOKOSUKA 2025」への出場を提案しました。また本店営業部にて補助金交付までの資金繰り支援を行い、新規事業立ち上がりの資金面の不安を解消しました。<br>【取組成果】<br>支援のポイントは、営業統括本部と営業店が連携し、補助金申請・資金調達・事業発信の三位一体で支援したことです。結果として、事業再構築補助金の採択およびスタートアップオーディションでの１位入賞という大きな成果に繋がりました。地域文化を基盤とした新事業創出を金融支援と行政連携で後押しした事例です。<br>【今後の予定】<br>新規事業のスケールアップを目的とした海外への展開を視野に販路開拓支援を行っていきます。 |

地域密着型金融の取組状況（2025 年 4 月～2026 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

**湘南信用金庫**

| 項目 | 具体的な取組事例 | 2025 年度中の結果報告 |
|---|---|---|
| ２．事業承継支援 | 第三者承継支援（M&A） | 【取組経緯】<br>不動産賃貸業の取引先は、後継者不在のまま物件売却を進めて融資返済に充てる状況であり、当金庫の債務残高は多額でした。事業継続等が困難な状況であった為、当金庫は第三者承継（不動産 M&A）を提案しました。<br>【取組内容】<br>本部・営業店が連携し、仲介先として不動産 M&A に強みを持つ業務連携先を選定しました。大手不動産会社によるバルク買取提案は債務完済に至らず交渉が難航しましたが、当金庫取引先の中から買い手候補を探索し、不動産賃貸業の取引先とのマッチングを実現しました。<br>【取組成果】<br>基本合意・トップ面談を経て、株式譲渡契約を締結しました。買い手側の株式取得資金は融資支援を実施、既存債務の移管手続きも行ないました。なお、融資支援に際しては経営承継円滑化法の認定を取得することで、資金調達の手段を多様化しました。売り手側の再際最大の懸念であった「経営者保証」は、速やかに解除する条項を最終契約書に盛り込みました。結果として、事業継続と後継者問題の解決を実現しました。<br>【今後の予定】<br>取引先である買い手に対して定期的にモニタリングを実施し、PMI（Post Merger Integration：M&A 後の統合プロセス）支援を行っていきます。 |

地域密着型金融の取組状況（2025 年 4 月～2026 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

**湘南信用金庫**

| 項目 | 具体的な取組事例 | 2025 年度中の結果報告 |
|---|---|---|
| ３．経営改善支援 | 経営改善計画策定支援 | 【取組経緯】<br>不動産賃貸業を行っている事業者は、平成 16 年から地元企業へ社員寮として一棟貸を行っており、安定した家賃収入を得ていましたが、令和 7 年 3 月末の賃貸借期間終了を以って、賃貸借契約を解除するとの通知がありました。支援事業者の売上は本賃貸物件からの家賃収入が大半を占めており、早期に新たな賃借人を見つけなければならない状況となりました。営業店は新たな賃借人として取引先を数社紹介しましたが、条件面で折り合わず、賃借人が決まらない状況が続いていました。<br>【取組内容】<br>営業店から相談を受けた本部は、不動産の利活用に強みを持つ業務連携先に打診しました。後日、4 先の候補先が紹介され、うち一社は令和 7 年 7 月から社員寮として一括借上げしたいとの希望でした。同年 3 月末で現賃借先との賃貸借契約が終了するため、4～6 月の 3 ヶ月間は家賃収入を得ることができなくなりますが、条件面で最も優れていた同社と交渉を進めていくこととなりました。また、賃借人交代に伴い収益構造が変わってくることから、経営改善計画を再策定することとなり、営業店と本部が協力して策定支援を行いました。<br>【取組成果】<br>家賃は若干下がったものの、新たな賃借人と賃貸借契約を締結することができ、安定した家賃収入を得ることができるようになりました。<br>【今後の予定】<br>経営者と定期的に面談し、入居状況や経営改善計画の進捗をモニタリングしていきます。 |

地域密着型金融の取組状況（2025 年 4 月～2026 年 3 月）
項目一覧ならびに結果報告

**湘南信用金庫**

| 項目 | 具体的な取組事例 | 2025 年度中の結果報告 |
|---|---|---|
| ４．地域の面的再生への参画 | 地域密着型の企業支援 | 【取組経緯】<br>寒川町では意欲のある地域企業が活動しやすいビジネス環境をつくることを行政目標として、地域経済活性化政策であるエコノミックガーデニングを導入し、地域経済成長に向けて伴走支援を平成 28 年度から実施しています。当金庫も地域金融機関としてエコノミックガーデニング推進協議会のメンバーとして参加しています。<br>※エコノミックガーデニングとは地域経済を「庭」、地元企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして企業家精神あふれる地元の企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる政策。<br>【取組内容】<br>本件は寒川町が中心となり商工会、当金庫を含む地元金融機関、日本政策金融公庫等が推進協議会のメンバーとなり、地域経済活性化に向けて、①経営支援(製造業を中心とした個別企業の成長支援)、②創業支援(創業者の発掘、創業準備支援)、③支援機関との連携(エコノミックガーデニング推進協議会の開催)の３点を取組の柱として活動を行っています。寒川町では「地域コンシェルジュ」として中小企業診断士３名が活動しており、当金庫も連携をしながら個々の企業の伴走支援を積極的に展開しています。<br>【取組成果】<br>実際の取組としては推進協議会を年に３回程度開催し、支援機関の意見交換やテーマ別の勉強会を実施しています。今年からは創業支援以外にも事業承継支援を重点施策として考えており、勉強会の実施や支援機関の連携強化を図っています。活動の柱の１つである創業支援に関して、当金庫も商工会や日本政策金融公庫と連携を図り、創業者への金融支援を中心した支援を実施しています。<br>【今後の予定】<br>推進協議会のメンバーの一員として寒川町の地域企業に対して継続的な支援を実施していく方針です。 |